

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

<研究課題名> 肺癌に対するサルベージ手術の有効性と安全性を検討する多施設共同後ろ向き臨床研究
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 呼吸器外科 (研究責任者) 櫻井 裕幸
<研究期間> 承認日 ~ 西暦 2019年8月31日
<研究の目的と意義> この研究は原発性肺癌に対するサルベージ手術の有効性と安全性を比較することを目的としています。 これまでに世界では20-30例の報告がありましたが、100例を超える大規模な検討はなされていません。そこで、このような研究を行うことで、あなたと同じ病気にかかっている多数の患者さんがよりよい治療の選択をできるようになると期待しております。
<対象となる患者さん> 今回研究に参加していただくのは原発性肺癌という病気に対して、根治的放射線療法・化学放射線療法、定位または粒子線治療、分子標的治療を行った後、局所に病変(がん)が残存している(または疑われる)、または腫瘍が一度消失した後に再度病変が大きくなってきた患者さんで、それらの病変に対して平成22年(2010年)1月1日~平成27年(2015年)12月31日に手術(サルベージ手術)を行った患者さんです。
<研究の方法> サルベージ治療の安全性と有効性を判定するために、患者さんの病歴や治療前の検査結果(喫煙していたことがあるかどうか、治療前の腫瘍マーカーの値、呼吸機能など)、原発性肺癌に対して初回に行った治療の詳細な内容、その後の手術までの経過、手術の内容、手術後の経過などについて集計します。今回は、データを集計するのみで追加で行う検査などはありません。
<外部への試料・情報の提供等> サルベージ治療の安全性と有効性を判定するために、患者さんの病歴や治療前の検査結果(喫煙していたことがあるかどうか、治療前の腫瘍マーカーの値、呼吸機能など)、原発性肺癌に対して初回に行った治療の詳細な内容、その後の手術までの経過、手術の内容、手術後の経過などについて集計します。今回は、データを集計するのみで追加で行う検査などはありません。
<研究組織> 研究組織 日本呼吸器外科学会 学術委員会 本研究は国内の参加可能施設で行う大規模多施設共同後ろ向き臨床研究です。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

呼吸器外科

氏名: 櫻井裕幸

電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2464 (PHS) 8180

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1606)